



第44回 全国英語教育学会 京都研究大会

【ご案内】

下記の要領により、京都研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、大会案内、大会プログラム(7月上旬発表予定)、その他大会関連事項は、全国英語教育学会京都研究大会のウェブサイトで随時発表いたします。(京都研究大会ウェブサイト<http://www.keles.jp/jasele2018/>)

平成30年4月1日

全国英語教育学会会長	伊東 治己(関西外国語大学)
大会実行委員長	横川 博一(神戸大学)
関西英語教育学会会長・大会実行副委員長	里井 久輝(龍谷大学)
大会実行副委員長	泉 恵美子(京都教育大学)
大会事務局長	大和 知史(神戸大学)

期	日／	2018(平成30)年8月25日(土)・26日(日)
会	場／	龍谷大学 大宮キャンパス(北翼・南翼・東翼・清和館)(URL: www.ryukoku.ac.jp) 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1
主	催／	全国英語教育学会 (地区学会:北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会・中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会・四国英語教育学会・九州英語教育学会)
共	催／	龍谷大学
後	援／	京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府立高等学校英語教育研究会・京都府中学校教育研究会英語研究部会・京都市立高等学校教育研究会英語部会・京都市立中学校教育研究会英語部会
担当地区学会／		関西英語教育学会

【重要な日程】

発表応募締切日／5月18日(金) 予稿集原稿提出締切日／6月22日(金)

参加申込期日／7月13日(金)

参加要領

- 参加資格** 全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、および、英語教育に関心を持っている方なら、どなたでもご参加いただけます。
- 参加申し込み** 参加を希望されている方は、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。申し込みの際は、同封の「大会参加・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご参照の上、京都研究大会ウェブサイトを通してお申し込みください。種別を問わずご発表を申し込まれた方、および、各種フォーラム・ワークショップ・シンポジウムの提案者（学会が依頼する提案者を除く）も大会参加の手続きが必要となります。
- 参加申し込み締切日** 参加申し込み期日は、平成30年7月13日（金）23:59です。
- 参加費** ○事前申し込みの場合／プログラム集・大会予稿集へのアクセス権を含めて、会員3,500円、非会員4,500円、学生2,000円
○当日受付の場合／プログラム集・大会予稿集へのアクセス権を含めて、会員も非会員も5,000円、学生は3,000円
※学生（学部学生、専任職を有しない大学院生）の場合、事前申し込みの際に日本旅行京都四条支店へ学生証（氏名と学生番号が確認できる面）のコピーをFAX（075-221-1726）で、あるいは写真を電子メールの添付ファイル（jasele@nta.co.jp）でお送りください（電子メールの件名は「全国英語教育学会学生参加」）。当日受付の場合は、受付で学生証を提示してください。
※本学会は、小学校英語教育学会と提携しております。小学校英語教育学会会員の方は、全国英語教育学会会員でなくても、会員と同額（事前申し込み：3,500円 当日受付：5,000円）になります。
※今年度は紙媒体の大会予稿集は刊行せず、ウェブ版となります。
- 申し込みの変更や取り消し** 参加申し込み締切後のご変更やお取り消しに関しましては、申し込みの際にウェブサイトの「キャンセルについて」をご参照いただき、【参加登録】【懇親会】【宿泊】【託児コーナー】の各キャンセルポリシー項目について必ずご確認の上、ウェブサイト上のフォームから変更をお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、旅行会社（日本旅行京都四条支店）へお電話（075-221-1726）または電子メール（jasele@nta.co.jp）にてご連絡ください。
- 派遣申請書** 大会出席の派遣申請が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記して、返信用封筒に宛先を記入し、切手を貼付けの上、大会事務局までお申し込みください。
- 学生会員の大会参加助成制度** 本大会には、学生会員の大会参加助成制度があります。詳しくは、全国英語教育学会の制度概要・応募要領をご確認ください（<http://bit.ly/gakuseijosei>）。

発表要領

- 発表者の資格** 個人会員の発表資格
- （1）平成30年2月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、平成29年度分会費を納入していることが必要です。
 - （2）共同研究では、代表者が上記の条件を満たし、かつ、他の発表者全員が、発表申し込み期限日まで、全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。共同研究代表者は、共同研究者の会員登録と会費納入が発表申し込み締切期日までに完了されていることを、責任を持ってご確認ください。
 - （3）研究大会の実行委員会においても、発表申し込み終了時点で、研究発表・事例報告の発表申し込み者全員について、全国学会事務局の会員名簿によって、資格審査を行います。その結果、共同研究の場合も、共同研究発表者としての資格を有していないと判明した場合、「共同研究自体の発表はできません」ので、ご注意ください。

- 自由研究発表者・事例報告の申し込み**
- (1) 発表申し込みは「全国英語教育学会第44回京都研究大会」ウェブサイト<http://www.keles.jp/jasele2018/>の「発表申し込み」のページから行ってください。書式に従って、発表題目、その他必要事項を記入し、5月18日(金)23時59分までに申し込んでください。要旨は大会プログラム作成のために用いられ、本ウェブサイトなどで公開されます。なお、発表申し込み後は発表題目等を一切変更できませんのでご注意ください。
- (2) 発表は、種別を問わず2件まで可能ですが、発表代表者には1回しかありません。但し、フォーラム、シンポジウムなどは含みません。
- (3) 発表要旨の作成に当たって
- ①ウェブサイト上の発表申し込みフォームに書き込んでください。
 - ②(a) Long version(審査用)と(b) Short version(ウェブおよび「プログラム集」掲載用)の2種類をお願いいたします。
日本語((a)400字以内、(b)200字以内、タイトルや所属を含まない)
英文((a)250words 程度、(b)50words 程度、タイトルや所属を含まない)
 - ③写真や図は入れられません。
 - ④発表タイトルおよび要旨は、発表言語に合わせてください。
 - ⑤要旨はウェブおよびプログラム集で公開されます。
- (4) 発表カテゴリーは下記のようにしております。
- A.種類 自由研究発表 事例報告
- B.形態 口頭発表 ポスター発表 いずれでもよい
- (5) 発表の日時の指定は受け付けませんのでご了承ください。

- 大会予稿集原稿作成要領**
- (1) 当日配布するハンドアウトの代わりとして大会予稿集(ウェブ版)を作成します。発表内容を執筆要領に従って、A4用紙2枚(厳守)で作成してください。
- (2) 原稿は京都研究大会ウェブサイトのフォームを使用してお送りください。
- (3) 予稿集原稿作成に関するお問い合わせは、京都研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
- (4) 予稿集の執筆要領は、京都研究大会ウェブサイトに掲載しますのでご覧ください。執筆要領に従っていない原稿は、編集委員会で修正、あるいは執筆者に差し戻されることがあります。
- (5) 京都研究大会では発表予稿集をpdfファイルとして大会ウェブサイトに掲載いたします。
- (6) 予稿集のウェブ上での公開に伴い、図表(特に写真)の掲載について、著作権等の取り扱いには十分ご注意ください。また写真に写り込んだ生徒や学生・教員などの顔、書籍の書影やアプリの写真などについて、執筆者の責任で許諾を取る、写真等の加工をしておく等、必要な手続きをとってください。
- (7) ウェブ上に公開される予稿原稿はカラー表示されます。
- 予稿集原稿 提出締切日:平成30年6月22日(金)

- 発表要領**
- (1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告時間20分、質疑応答5分、計25分です。司会者につきません。進行の補助をするタイムキーパーがつく予定です。
- (2) 自身が関わっている著書や教材等の宣伝チラシや、自身が関わっている研究会等の案内チラシなどの配布や、スクリーンでの紹介・案内行為については、原則、認められていません(賛助会員による発表は除く)。ただし、発表内容に関連して自身が関わっている著書・教材・研究会等に補足的に触れることは、営利目的でない限り、認められます。
- (3) ポスター発表(1日目)は、あらかじめ指定された時間帯(前半あるいは後半)で60分間ポスター前にて発表・質疑応答をお願いします。

大会日程概要※

8月24日(金)

13:00-14:15 紀要編集委員会
14:30-17:30 理事会

開催場所

龍谷大学 東覺
龍谷大学 東覺

8月25日(土)

8:30～ 受付
9:00～9:20 開会行事
9:30～10:50 特別講演
11:10～12:10 研究発表・実践報告
①11:10-11:35 ②11:45-12:10
12:10～13:25 昼食
12:15～13:15 大学生・院生フォーラム
13:25～15:35 研究発表・実践報告・企業プレゼンテーション
③13:25-13:50 ④14:00-14:25 ⑤14:35-15:00 ⑥15:10-15:35
14:00～15:35 ポスター発表コアタイム(12:40掲示開始)
15:50～17:30 課題研究フォーラム・授業研究フォーラム
①課題研究フォーラム1年目 九州・関東
②課題研究フォーラム2年目 東北・中部
③授業研究フォーラム 四国・北海道
17:35～18:15 総会
19:00～21:00 レセプション(懇親会)

東覺 エントランス
東覺 101講義室
東覺 101講義室
各発表会場
東覺
各発表会場
東覺・北覺・清和館
東覺 101講義室
ホテルグランヴィア京都

8月26日(日)

9:00～ 受付
9:20～10:20 研究発表・実践報告
⑦9:20-9:45 ⑧9:55-10:20
10:40～12:20 シンポジウム
12:20～13:40 昼食
12:30～13:20 ランチョン・セミナー
大学生・院生フォーラム
13:40～15:50 研究発表・実践報告・企業プレゼン
⑨13:40-14:05 ⑩14:15-14:40 ⑪14:50-15:15 ⑫15:25-15:50
13:40～15:10 ワークショップ
13:40～15:15 ポスター発表コアタイム(12:20掲示開始)
15:55～16:15 閉会行事

東覺 エントランス
東覺・北覺
東覺 101講義室
東覺・北覺
東覺・北覺
東覺・北覺
東覺 101講義室

※発表件数など、諸々の事情により、時間帯に多少の変動が生じる場合がございます。詳細は、京都研究大会ウェブサイトをご参照ください。
また、必ず後日掲載する大会プログラムにてご確認ください。

シンポジウム

「日本の英語教育の将来

—新学習指導要領で何が変わるのか、何を変えるのか、何を変えないのか—」

コーディネーター／松沢伸二(新潟大学)

パネリスト／佐藤裕子(船橋市立若松小学校)・吉田喜美子(吉野ヶ里町立三田川中学校)・宮崎貴弘(神戸市立葺合高等学校)

【シンポジウム概要】学校の教員は、「学習指導要領には書かれていないが私達が大切にしているもの」も指導目標にするという考え方で、自ら特定の技能等を選び、育成する。海外の学習指導要領等が明記しているが日本の新学習指導要領が明記していないものに、①媒介技能(mediation skills)②言語学習の技能(language-learning skills)③汎用的技能(generic skills)の育成がある。媒介技能は口頭や書面の訳などができる技能、言語学習の技能は記憶を助ける技術を活用するなどの技能、汎用的技能は協働技能や問題解決技能などの学習の基盤となる技能である。新学習指導要領下の日本の学校英語教育では、教員はこの3種類の技能の育成をどう捉えて指導と評価を行うべきか。本シンポジウムは「小学校学習指導要領第10節外国語」(平成29年3月)、「中学校学習指導要領第9節外国語」(平成29年3月)、「高等学校学習指導要領第8節外国語」(平成30年3月)の3編の新学習指導要領を対象とする。各シンポジストが小・中・高での各自の実践などを基に、上記3種類の技能の育成についての意見を発表し、フロアと考えを交換して、社会がグローバル化し、AIに基づく自動音声翻訳が日常化する将来における日本の英語教育のあり方について理解を深めたい。

特別講演

Informing and Transforming Language Teacher Education Pedagogy: Responsive Mediation in Learning-to-Teach

講師／Dr. Karen E. Johnson (The Pennsylvania State University)

【講演概要】This plenary provides an insider's look at the meaningful role that L2 teacher educators and L2 teacher education play in the professional development of L2 teachers through systematic, intentional, goal-directed, theorized L2 teacher education pedagogy. Empirical evidence is provided of the moment-to-moment, asynchronous, and at-a-distance responsive mediation that takes place in cohesive practices that I have designed, repeatedly implemented, and subsequently collected data on in my own L2 teacher education program.

Responsive mediation is positioned as the nexus of mindful L2 teacher education and proposed as a psychological tool for teacher educators to both examine and inform the ways in which they design, enact, and assess the consequences of their own L2 teacher education pedagogy.



Dr. Karen E. Johnson

Karen E. Johnson is Kirby Professor in Language Learning and Applied Linguistics at The Pennsylvania State University. Her research focuses on teacher learning in L2 teacher education, a sociocultural perspective on L2 teacher professional development, narrative inquiry as professional development, and the dynamics of communication in second language classrooms. Her most recent books include *Second Language Teacher Education* (2009), *Research on Second Language Teacher Education* (2011) and *Mindful L2 Teacher Education* (2016) published by Routledge. Dr. Johnson has presented papers and given workshops for second language teachers and teacher educators in Brazil, Hong Kong, Japan, New Zealand, Taiwan, Turkey, Singapore, South Africa, and throughout the US. She serves as associate editor of the Practitioner Research section of *Language Teaching Research*. In the MA TESL and the Ph.D. in Applied Linguistics degree programs, she teaches courses in Teaching English as a Second Language, Teaching L2 Writing, Communication in Second Language Classrooms, and Theory and Research in Language Teacher Education.

ワークショップ

(1)「英語教員養成・研修コア・カリキュラム」のビジョンとその実現に向けて 講師／粕谷恭子(東京学芸大学)

(2)授業分析の視点とフィードバック

講師／高橋一幸(神奈川大学)

授業者／山崎寛己(松原市立松原第七中学校)

(3)英語読み聞かせの極意—英語を読む楽しさの原点—

講師／Kevin Churchley(秀明高等学校, Oxford University Press)

大学生・大学院生フォーラム

〈第6回大学生・大学院生フォーラム〉

【1日目】大学生・大学院生のための交流の場

司会／木村 雪乃(獨協大学)

【2日目】大学生・大学院生のための論文執筆支援セミナー

講師／名畑目 真吾(共栄大学)

フォーラム

①課題研究フォーラム1年目: 九州, 関東

〈九州〉タイトル「アクティブラーニングを考える ～これまでの実践と今後の方向性を見据えて～」

登壇者／コーディネーター 山川 満夫(沖縄国際大学)

提案者／新川 美紀(伊是名村立伊是名小学校)・上原 明子(琉球大学教育学部附属中学校),

グレイ雅美(沖縄県立小禄高等学校)・上原千登勢(沖縄国際大学)

〈関東〉タイトル「日本人高校生の名詞句把握能力はどのように伸びていくのか—縦断的研究から見えてくること—」

登壇者／コーディネーター兼提案者 臼倉美里(東京学芸大学)

提案者／鈴木祐一(神奈川大学)・伊藤泰子(神田外語大学)・加藤嘉津枝(日本大学)・

矢部隆宜(目白研心中学・高等学校)・富水美佳(東洋大学京北中学・高等学校)

②課題研究フォーラム2年目: 東北, 中部

〈東北〉タイトル「ワーキングメモリ機能にみる小・中学生の認知的特徴」

登壇者／コーディネーター兼提案者 佐久間康之(福島大学)

提案者／齊藤智(京都大学大学院)・高木修一(福島大学)

〈中部〉タイトル「小中高大連携の英語とCLIL—思考力と4領域5技能統合へのTrack—」

登壇者／コーディネーター兼提案者 柏木賀津子(大阪教育大学)

提案者／山野有紀(宇都宮大学)・村上加代子(神戸山手短期大学)・伊藤由紀子(大阪成蹊大学)・

李静香(大阪府大阪市立木津中学校)・森田琢也(大阪府立箕面高校)・工藤泰三(名古屋学院大学)

③授業研究フォーラム: 四国, 北海道

〈北海道〉タイトル「コミュニケーション能力の育成を意識したライティング活動の実践—中学校から大学まで応用可能な指導法の提案—」

登壇者／コーディネーター: 中村香恵子(北海道科学大学)

提案者／石塚博規(北海道教育大学)・青木千加子(北海学園大学)・

小野祥康(北海道教育大学附属旭川中学校)・三ツ木真実(北海道文教大学)

〈四国〉タイトル「リーディング・ライティングの継続的な指導の考察—小学校中学年から高校につながる指導を考える—」

登壇者／コーディネーター 畑江 美佳(鳴門教育大学)

提案者／長倉若(コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ)・池尻早紀(高知県の町立川内小学校)・

深澤信也(埼玉県熊谷市教育委員会)・堀米美恵子(大阪府箕面市立第四中学校)・

森田浩平(宮崎県立宮崎大宮高等学校)

ランチョンセミナー

(1) Narrative Inquiry as Professional Development

講師／Dr. Karen E. Johnson(The Pennsylvania State University)

(2) 授業研究の新しい展開: 現象学的アプローチとリフレクティブ・プラクティス

講師／玉井健(神戸市外国語大学)

(3) 音読指導によるバランスのとれた英語力育成の理論と実践

講師／安木真一(京都外国語大学・短期大学)

(4) ジグソー法で高次思考を鍛える—高校英語のデザイン—

講師／溝畑保之(大阪府立鳳高等学校)

懇親会・宿泊・託児コーナーの申し込み

申し込み方法の詳細は、同封の「大会参加・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご覧ください。

■ 懇親会

ホテルグランヴィア京都(〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口)にて、会費一般7,000 円・学生4,000 円で懇親会を開催いたします。規定の人数に達し次第締め切らせていただきます。当日受付(若干名)も行う予定ですが、人数に限りがありますので、事前申込をお勧めいたします。

■ 宿泊

日本旅行京都四条支店にてホテル幹旋を行っておりますので、ウェブサイトの宿泊申し込みフォームよりお申し込みください。

■ 託児コーナー

会場内に託児コーナーを設置いたします。詳細は京都研究大会ウェブサイトにてご案内いたしますが、ご利用をご希望の方は、ウェブサイトのフォームから必ず事前申し込みを行ってください。事前申し込みのないお子様のお預かりはできませんので、7月13日(金)23:59までに必ず「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。

(注意)お弁当

本研究大会では、お弁当の提供をいたしません。各自でご準備いただくか、学内の生協食堂、近隣の飲食店をご利用ください。

会場でのネットワーク利用

龍谷大学大宮キャンパスでは、無線LANの利用について、以下の2通りの方法で可能となります。

- 当日配布あるいは掲示するID・PW
- eduroam(ご所属機関のID・PW)

連絡先

■ 発表申し込み先

京都研究大会ウェブサイト「発表申し込み」のページからお申し込みください。

■ 大会参加・懇親会・宿泊・託児コーナー申し込み先

京都研究大会ウェブサイトよりお申し込みください。

■ 大会予稿集原稿送付・問い合わせ先

- ・予稿集原稿は、研究発表のお申し込み後に事務局よりお送りする電子メールをご確認いただき、京都研究大会ウェブサイト専用フォームにてご送付ください。
- ・予稿集原稿についてのお問い合わせは、京都研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用いただくか、下記のメールアドレス宛てにお願いいたします。

■ 大会問い合わせ先:大会事務局

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学 大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター 大和 知史

e-mail: jaselekyoto2018@gmail.com

会場アクセス

■ 京都へのアクセス

- 東京駅よりJR東海道新幹線にて約140分。
- 関西国際空港より、JR関空特急「はるか」にて約75分。
- 関西国際空港より、空港リムジンバスにて約88分。(京都駅八条口発着)
- 大阪伊丹空港より、空港リムジンバスにて約55分。(京都駅南口発着)

ホテルグランヴィア京都へのアクセス ▶

<http://www.granvia-kyoto.co.jp/access/>

■ 京都駅からのアクセス

- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)

龍谷大学大宮キャンパスへのアクセス ▶

http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html

